MIZUHO　みずほ銀行　OneMIZUHO

みずほCustomer Desk Report　2023/07/07 号（As of 2023/07/06）

市場営業部　為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	144.41
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	144.49	1.0855	156.78	1.2705	0.6656
SYD-NY High	144.65	1.0901	157.00	1.2780	0.6688
SYD-NY Low	143.56	1.0834	155.86	1.2674	0.6599
NY 5:00 PM	144.06	1.0892	156.90	1.2740	0.6626

	終値	（前日比）		終値	（前日比）
NY DOW	33,922.26	▲ 366.38	日本2年債	▲0.0600%	0.0100%
NASDAQ	13,679.04	▲ 112.61	日本10年債	0.4100%	0.0300%
S&P	4,411.59	▲ 35.23	米国2年債	4.9869%	0.0413%
日経平均	32,773.02	▲ 565.68	米国5年債	4.3495%	0.1021%
TOPIX	2,277.08	▲ 28.95	米国10年債	4.0301%	0.0976%
ｼｶｺﾞ日経先物	32,505.00	▲ 665.00	独10年債	2.6275%	0.1490%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,280.50	▲ 161.60	英10年債	4.6575%	0.1620%
DAX	15,528.54	▲ 409.04	豪10年債	4.1120%	0.1210%
ハンセン指数	18,533.05	▲ 577.33	USDJPY 1M Vol	10.10%	▲0.02%
上海総合	3,205.57	▲ 17.37	USDJPY 3M Vol	9.97%	0.15%
NY金	1,915.40	▲ 11.70	USDJPY 6M Vol	9.76%	0.11%
WTI	71.80	0.01	USDJPY 1M 25RR	▲1.12%	Yen Call Over
CRB指数	261.92	▲ 0.89	EURJPY 3M Vol	9.80%	0.32%
ドルインデックス	103.17	▲ 0.21	EURJPY 6M Vol	9.70%	0.21%

東京

144.49ﾚﾍﾞﾙで東京時間を開始、同ﾚｰﾄが東京時間高値に。日経平均株価の大幅安を見ながらﾘｽｸｵﾌﾑｰﾄﾞが強まり、ｸﾛｽ円中心に円買いが先行。ﾄﾞﾙ/円も仲値にかけて144.20まで軟調推移。その後11時頃までは反転上昇するも上値は重く、14時前には144の大台を割り込む。その後143.63の東京時間安値を付け、143.74ﾚﾍﾞﾙで欧州市場へ渡った。

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、143.74ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。米労働市場の指標発表を控え、方向感なく推移。結局、143.71ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。

ニューヨーク

海外市場のﾄﾞﾙ円は144円台半ばでｽﾀｰﾄ。日本株の軟調な展開を受け、ﾘｽｸ回避の円買いが先行し、143円台半ばまで下落する。その後、144円台前半まで値を戻す場面も見られたが維持できず、再び144円台を割り込み、143.71ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米6月ADP雇用統計予想を大幅に上回り、買いが優勢となる。続いて発表された米5月JOLT求人件数は予想を下回ったものの、米6月ISM非製造業景況指数が予想を上回り、雇用と新規注文の部分では前回より改善された結果が注目され、米経済の堅調さが示された事から、144.65まで上昇する。しかし、その後は伸び悩み144円台前半まで反落する。午後は注目材料を欠き、144.10付近で動意乏しい推移が続き、144.06ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは1.08台半ばでｽﾀｰﾄ。ﾄﾞｲﾂ5月製造業受注(前月比)が予想より良好な内容を受け、ﾘｾｯｼｮﾝ懸念が後退した思惑から、買い地合いから底堅く推移し、1.0895ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は一連の米経済指標の内容を受け、ﾄﾞﾙ買い優勢の中1.0834まで値を下げるも、その後下げ渋り、1.08台後半まで値を戻す。午後は午前中の流れを引継ぎ、1.0901まで上げ幅を拡大し、1.0892ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：山口・逸見

【昨日の指標等】

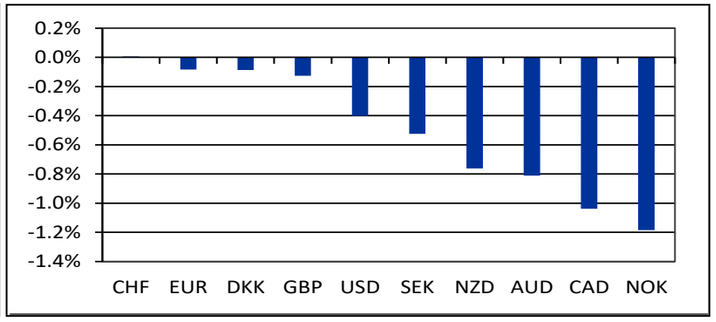
Date	Time		Event		結果	予想
7月6日	10:30	豪	貿易収支	5月	A$11791m	A$10900m
	18:00	欧	小売売上高(前月比)	5月	0.0%	0.2%
	21:15	米	ADP雇用統計	6月	497k	225k
	21:30	米	貿易収支	5月	-$69.0b	-$69.0b
	21:30	米	新規失業保険申請件数	1-Jul	248k	245k
	22:45	米	ｻｰﾋﾞｽ業PMI・確報	6月	54.4	54.1
	22:45	米	ｺﾝﾎﾟｼﾞｯﾄPMI・確報	6月	53.2	53
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	6月	53.9	51.2
	23:00	米	JOLT求人件数	5月	9824k	9900k

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
7月7日	21:30	米	非農業部門雇用者数変化	6月	230k	339k
	21:30	米	失業率	6月	3.6%	3.7%
	21:30	米	平均時給(前月比)	6月	0.3%	0.3%
	21:30	米	平均時給(前年比)	6月	4.2%	4.3%

【ドル円相場】

【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.50-145.30	1.0800-1.0950	156.00-158.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はアジア株が軒並み下落する展開にリスク回避の動きが強まり、円買い優勢の展開となった。ドル円は一時143.56まで下落。ただし、米国時間に発表された米6月ADP雇用統計で雇用者数が予想外の増加となったこと、さらに米6月ISM非製造業景気指数も予想を上回ると、Fedによる年内2回の利上げを織り込む動きが加速し、米金利上昇を背景にドル円も144.65まで回復。その後、日銀内田副総裁の「YCC修正はバランスとって判断」との報道を受け、ドル円は再び下落し144.06でクローズした。

ドル円は上下したものの、本日21時30分に発表される米6月雇用統計を控え、結局大きな方向感は出なかった。直近発表されている米雇用関連指標は強いものが続いているおり、本日の雇用統計も力強い結果となるとドル円は再び上昇トレンドに入ると予想する。FRBによる年内2回目の利上げ織り込みは足許50%弱となっているが、この織り込みが進むことで米金利は上昇し、ドル円も再び145円をトライする動きとなろう。一方で、予想を大幅に下回った場合のドル売りにも警戒したい。

OneMIZUHO 未来へ。お客さまとともに